

平成18年8月15日発行／伊賀市役所 〒518-8501 三重県伊賀市上野丸之内116番地
編集／企画振興部広聴広報課 Tel. 0595-22-9636 FAX 0595-22-9617
伊賀市ホームページ <http://www.city.iga.lg.jp/>

社会を

明るくする運動 作文コンテスト

第56回「社会を明るくする運動」伊賀市実施委員会では、市内の中学生を対象とした作文コンテストを行い、審査の結果11点の作品が入賞しました。応募された作品には、自分たちの体験を通して明るい社会についての考えが素直に表現され、未来への展望を感じさせるものでした。この中から、最優秀賞の作品と入賞者を紹介します。

審査結果(敬称略)

【最優秀賞】

田中 利佳 (成和中)

【優秀賞】

福永 奈央 (緑ヶ丘中)

川本 萌子 (府中中)

稲増 衣里也 (鳥ヶ原中)

【奨励賞】

中 恵未 (崇広中)

城崎 和貴 (桃青中)

高橋 春菜 (丸山中)

小林 美和 (霊峰中)

辻村 彩希 (阿山中)

西口 真由子 (大田田中)

中田 裕貴 (青山中)

「今の私にできること」

伊賀市立成和中学校2年

田中 利佳



みなさんは近所の人たちのことをよく知っていると言えるでしょうか。接点がないのが原因で、理解できていないということもあると思います。でも、原因はそれだけではないと思います。実際に分かっていないからではありませんか。考え方を少し変えることで、近所の人たちともっと分かり合えるはずですよ。

私の祖父は、近所の人と一緒にボランティアで小学校の土手の草刈りや庭木の剪定などを行っています。ある日、居間に置いてある手紙を見て「おじいちゃん、これ何？」と私が聞くと「小学校の子たちが草刈りをしたときのお礼の手紙を持ってきてくれたんや。」と祖父が嬉しそうに答えてくれました。手紙を見せてもらって、小学生の心のコもったお礼の言葉が書いてありました。手紙をくれた小学

生は祖父たちが草刈りをしているところを見てはいないのですが、きれいになった校庭を見て嬉しかったんだなあと思いました。そして、このボランティアのことを家族みんなで話している時の祖父の嬉しそうな顔を見て、私も心が温かくなりました。祖父は身近なところで自分ができることを探して活動しているんだなと思いました。また、このボランティアを通して、近所の人や小学生と積極的にながりをもちとする姿勢が祖父のいいところだと思っています。

私は小学生の頃からバレーボールをしています。小学生バレーの指導者は皆ボランティアです。バレーボールをしている一部の人たちが集まって教えてくれています。それぞれ自分の仕事をもちながらも練習に来て熱心に指導してくれています。指導することが趣味だと言ってくれる人もいます。練習は毎週土曜日と日曜日に約3時間ずつあります。試合の日には朝早くから夕方までになりますが、なんとか時間をつくり指導に來てくれます。

私もたまにですが小学生バレーの練習に行くことがあります。バレーボールがしたいという気持ちと、監督やコーチに会いたいという気持ちがあるからです。監督やコーチにはバレーボールの技術だけでなく、最後まであきらめないことや友達と助け合うことを教えてもらいました。今も私の心に残る大切な気持ちになっています。

このようにそれぞれ活動は違っても、私の周りには積極的な人となりがりをもっている人がたくさんいます。大切なのは、「つながりをもつ」「分かつ」という気持ちだと思います。接点をつくろうと思うと行動することが、いろいろな活動に参加することになり、その活動の中で自然と人とのつながりができてくるのだと思います。

今の私には何ができるでしょうか。私はこれから出会った人に、自分から進んであいさつをしていこうと思っています。あいさつをするには一番身

近だと思っし、毎日できることだからです。きつとあいさつの効果は心で実感できると思います。今、中学校の中でも「あいさつ運動」をしています。学年、男女関係なく、誰とも自然にあいさつができたらいなと思っしています。あいさつをかわすことで「日中気持ち良く過ごせるような気がします。また、相手のことをよく知る一歩になるのではないかと思っています。あいさつをする声や表情に相手の心も自分の心も必ず表れると思います。元気のない友達に気付いたら声をかけてあげたいし。私も落ち込んでるときに声をかけてもらったら嬉しいと思っからです。

また古山地区では、積極的に行事に参加しようと考えています。地区の行事には、運動会や納涼祭、ボウリング大会などがありますが、普段会わないような他の地域の人も集まってきます。行事に参加することで、赤ちゃんからお年寄りまでいろいろな年代の人とつながりをもつことができます。あとは相手のことを「分かつ」という気持ちさえあれば、80歳のおじいちゃんや100歳のおばあちゃんとも友達になれるかもわかりません。そんなふうに考えると行事に参加することがとても楽しみになります。

さて、今のあなたには何ができますか？きつと、一人ひとりできることは違っと思っします。でも、何か始めることで自分も、自分のまわりの人たちも変わっっていくのではないかな。